

2024年5月月例山行 西丹沢「檜洞丸・大室山」 報告

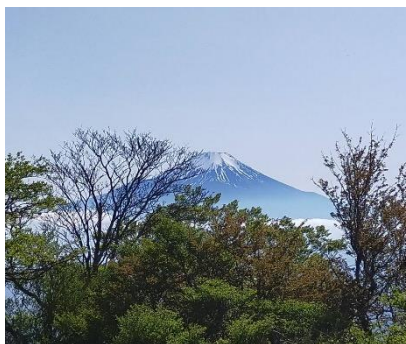
CL：朝井紀久子

- * **日程**：2024年5月11日(土)～12日(日) 1泊2日
- * **場所**：檜洞丸(1,601m)、※大室山(1,587m) は天候の影響で中止
- * **参加者**：萩原みか、塚越和子、松尾渡、土田利恵子、吉田湖恵、吉田由美、
平本真二郎、平本美恵子、高倉洋一(SL)、朝井紀久子(CL) 計11名
- * **天候**：[5/11] 晴れ、10～18℃、そよ風程度。15時頃より雲が上がってくる。
[5/12] 朝気温6℃、風と霧。視界あるが展望なし。稜線は風速10m予報。
- * **行程**：西丹沢ビジターセンターへ各自移動 (①電車+路線バス ②自家用車 ③バイク)
5/11(土) 11:00 西丹沢ビジターセンター バス停 11:07 → 12:07 ガーラ沢出合 12:17 →
(ツツジ新道) →13:12 展望園地 13:32 →15:15 檜洞丸 山頂 15:30 →
15:35 青ヶ岳山荘(泊) (山行時間 約4時間30分(休憩込)、標高差1,044m)
5/12(日) ※天候により下記の通り予定変更

予定	青ヶ岳山荘 6:00→檜洞丸→犬越路→大室山→加入道山→白石峠→用土沢出合→ 16:20 西丹沢ビジターセンター バス停 (下山) ※バス時刻：17:05 (山行時間 約9時間 (休憩込)、標高差1,058m)
実施	青ヶ岳山荘 7:30 → 檜洞丸 → テシロノ頭 → 8:35 白ザレノ頭 → 9:07 石棚山 9:13 → ヤブ沢ノ頭 → 板小屋沢ノ頭 → 11:58 大石キャンプ場・箒 沢公園橋 (下山)。少し歩き、昼食後、箒杉(推定樹齢2000年)見学 → 14:00 西丹沢ビジターセンター バス停 着、解散。 ※バス時刻：14:40 (山行時間 約4時間30分 (休憩込)、標高差1,044m)

今回の企画は、丹沢の中でも自然の多い西丹沢の2峰を1泊で巡る、距離や標高差、及び鎖場やザレ場や渡渉など少し難易度のある山行で、花や展望を楽しみに、少し挑戦する気持ちで参加された方も多い企画でした。

初日は天候も良く、1,000m近い標高差ながらゆっくりと登り、予定通りの時間に檜洞丸登頂と小屋到着。ガーラ沢出合の渡渉も問題なく、続くツツジ新道は階段も多く整備され登り易い。期待のシロヤシオは、時期が早く、また今年はとりわけ花付きが少ないようで残念。しかしトウゴクミツバツツジの紅紫色や、富士山の展望に、参加者が度々足を止め堪能。檜洞丸からは蛭ヶ岳・丹沢山・塔ノ岳の連なりが明瞭に見れました。5分下の小屋に到着し着替えや休憩後、夕日を見に再び檜洞丸へ。美しく見えた富士山が、風で上がる霧で隠れ、予



報の「翌朝、晴れのち霧」の動きが少し早まる予感がしました。翌朝早出の計画にて早めに就寝。青ヶ岳山荘は衛生面に配慮され、布団の寝心地は最高でした。しかし夜中に聞こえ出した風の音は徐々に強まる様子でした。

明朝の冷たく強い風と霧、稜線の風速 10m 予報。計画行程は長く下山路の崩れもあり、低体温症と転倒リスクが懸念されました。また、予報より雨が早まると、下山終盤の渡渉にも危険が生じる可能性を考えました。CL と SL で話し合い、大室山への登山を中止し、往路のツツジ新道と並行している、風を避けられる樹林帯が多い石棚山コースでの下山を検討。小屋管理人からは、大室山の手前の犬越路峠まで行って、そこからエスケープルートの隧道を通る事も提案されました。それは、霧が途中は晴れるのではないかと、そうしたら今回 2 日目のハイライトとなる展望が見られるのではないかと、参加者の期待に少しでも応えたい思いが伝わってきました。私も同じ思いでしたが、霧が晴れる見込みは分からず、犬越路までにアップダウンと鎖場もあり、朝の霧と風で参加者の気持ちも萎えている事も考慮し、石棚山コース選択を参加者へ伝え、同意を得て決定しました。

当初の計画よりかなり時間が短縮される為、小屋でゆっくりお薦めコーヒーを飲み歓談して過ごし、7:30 に出発。ツツジ新道に比べ、石棚山コースは

アップダウンはありますが、風は感じず、ゆっくり新緑の中を進みます。途中でシロヤシオが咲いているのを目にし、皆で驚き、コース変更した甲斐も感じました。石混じりの砂地など滑りや



すい箇所もあり、途中、転倒する人もあり、適宜休憩をしながら下山しました。12 時少し前にキャンプ場まで下山し、少し歩いて昼食後、参加者が提案して下さった箒杉（推定樹齢 2,000 年の大樹）を見学。その後、バス道路を西丹沢ビジターセンターまで歩き、14 時頃到着。車組とはここで解散。バス組は、当初の計画よりも約 2 時間半ほど早いバスに乗車し帰路となりました。

今回は 2 日目の檜洞丸から犬越路、大室山への展望も皆と味わいたかったのですが、天候にはかなわず断念となりました。今回の難易度を見込んで、他の山で事前練習をされた方や、今後のステップアップ目的で参加された方もいて、その思いにも応えたかったのですが、皆さんの安全は何より大切であり、また今後に繋げて行きたいと感じます。（CL 朝井紀久子）

〔 所感 〕 SL 高倉洋一

西に大きな富士山を見つつ、ブナの木の新緑に包まれて歩く西丹沢の五月を参加者一同堪能したのではないかと思います。それでもコースには渡渉箇所のほか、鎖場、ロープ、鉄梯子もあってそれなりに緊張し、二日目朝は強風にも晒された山行でしたが、CL の朝井さんは当初の計画作りの段階に始まり、山行前の参加者への情報連絡・共有に心を砕き、二日目朝の計画変更決定もうまくマネージされ、大人数のパーティーも皆安心して行動できたと思います。美しい丹沢山塊の眺望とコースの醍醐味、頼れるリーダーに恵まれた二日間でした。

■参加者の感想

【土田利恵子】

初日は天気恵まれ気持ちよくツツジ新道を歩くことが出来ました。足下に咲く小さなフデリンドウ、ミツバツチグリなどの名前を知ることが出来さらに楽しくなりました。

そして日本一の山、雪解けが進み夏の山に向かう姿が寂しくもありまた登れる楽しみもありと複雑な気持ちになりました。

翌日は夜中からの強風が止まずキケンと判断され大室山ではなく下山へのルート変更になりましたが、所々でシロヤシオを見ることが出来「アタリ」のエスケープルートでした。全員で下山出来た事がとても嬉しく思います。今回は下山がキツかったですがとても楽しい山行になりました。CL.SLのお二人ありがとうございました。

【松尾 渡】

今回の檜洞丸登山は一泊二日(5月11日～12日)で、初日つつじ新道登山口からゴウラ沢出会の渡渉を難なく超え、展望台近くで頂上に雪を抱える富士山をゆっくり眺め、その後檜洞丸頂上を目指す。好天に恵まれ、登山道途中で目にするブナの若葉にあふれた新緑が目には優しい。シロヤシオの花も咲き始めウグイスの鳴き声が長く耳に残る。初日の歩行距離5km、累積標高差1280mで予定通り15時半過ぎに山小屋に到着する。

二日目は朝早く山小屋を出発予定であったが、風速10m、霞がかった天気からは当初の登山見直しを余儀なくされ、7時半に出発しテシロの頭経由で石棚山を経て板小屋沢の頭→12時前に箒沢(ほうきさわ)公園橋に到着する。下山途中には、鉄鎖、ハシゴ、ロープでの通過等リスクのある山下りを楽しめた。

箒沢で休憩後、少し歩いて国指定天然記念物として有名な「箒杉(推定2000年を経過)」を見学する。屋久島の「縄文杉」には及ばないかもしれないが、全国的にはその次の順位に値する杉ではないだろうか。天候により当初計画登山はできなかったが、適切な判断により二日目は石棚山コース下山及び見学を楽しめた。